

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成25年5月23日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話 093 (541) 2409 番

臨終では間に合わない

吉村 隆真

「枕経」のことを、正式には「臨終勤行」と言います。臨終に際して、その前後に勤めるのですが、臨終後に勤めることが一般的です。浄土真宗は、平素において浄土へ生まれる身と定まる教えですから、臨終を沙汰しません。「どのように死んだか？」ではなく、「どのように生きたか？」を重要視する教えと言えます。成仏する因は、本人の生前の信心にあるのですから、臨終勤行をどれだけ丁寧に勤めても、それ自体が故人を成仏させるための援護射撃になる訳ではありません。では臨終勤行にはどのような意味があるのでしょうか？それは、読経をする場所にヒントがあります。臨終勤行の場面を想像してみてください。一般的には、お仏壇の前を避けるかのように、遺体の前に祭壇が組まれ、その前で読経ができるように、ご丁寧に座布団まで用意されています。しかし、僧侶が座るのは、棺や祭壇の前ではなく、必ずお仏壇の前でしょうか？疑問を感じる人も多いようですが、実はこの場所にこそ、重要な意味があるのです。臨終勤行とは、臨終に際して、身近な者が本人と一緒に、仏様に対して、人生最後の御礼を申し上げる場なのです。「晴れた日も雨の日も、健やかなる日も病める日も、いつも故人と共にあって、苦悩の多い人生を共に歩み、浄土へとお導き下さいましたことに、心よりお礼申し上げます。ナムオミダブツ・・・」とその家の中心であるお仏壇の前に座って、主である仏様に対して、御礼を申し上げます。それは、同時に、仏様の徳を讃えることでもあります。人間の言葉では言い尽くし難い、感謝と讃嘆の思いを仏言(お経に綴られる言葉)を通して表すのです。「枕経」という言葉が、いかにも故人の枕元で読経をして、迷わずに成仏させてあげるための援護射撃のような印象を与えるでしょうが、それは全くの誤解です。

そして、もう一つ大切なことは、矢印を自分に向けるということです。臨終に限らず、通夜・葬儀・法事(仏事)全般に言えることですが、これらの場は故人のためだけにあるのではなく、仏縁を結ぶべきあなたに用意された、尊い機会と受け止めるということです。故人の中に自分自身の姿を投影し、反対に自分自身の中に故人を重ねて見つめて、「いのち」に深く共感するのです。臨終を迎えられた人々から、いつも私たちは学びます。どんなに長く生きようとも、人生には限りがあるということ、この人生はたった一度きりであること、そして何よりも、この人生は他の誰とも決して代わることができず、全く自分自身で引き受けていかねばならないものであることを……。そのことに深く頷いて生きていく中でこそ、一人の人間の死が大きな意味を持つのです。問われているのは、「死に様」ではなく「生き様」であって、「臨終」ではなく「平生」なのです。

今年のテーマも なかまづくり

たくさんの『寺友-てらとも』（お寺でご縁をいただいたともだち）が目標。色々企画していきます。「浄土真宗の門徒だけど、まだお寺に行ったことないな」「お寺って、だれか亡くなったら行くところ？」「なーんか、敷居たかそー？」「少し仏教に触れてみたいけれど、こんなこと聞いていいの？」などなど。みなさんで、わいわい、言いながら、お寺を楽しんでいただきたいとおもいます。いっしょにご飯を食べて、飲みましょう。一人が一人に声をかけましょう。すると倍です。なかまがたくさん増えたらいいなあ。

そんな第1弾！！男性集まれ！！

- ◎ とき 7月6日（土）午後7時より
- ◎ ところ 正善寺本堂
- ◎ 会費 お一人様 2,000円
- ◎ 申込 お寺に電話をどうぞ 会費は当日持参
- ◎ 目標 とにかく集まる とにかく食べる とにかく飲む とにかく・・・



平成25年度 かすみ草の会例会

ネエネエちょっとおたずね？

◎日時 6月8日（土）13時より

お仏壇は、死者を祀る所？

◎会場 正善寺本堂

新会員歓迎します。ご参加ください。

8日は、仏教のおもしろく、ありがたい

お話（浄土真宗の基礎）を皆さんで学び

ます。バザーの準備もします。

お仏壇はご本尊、阿弥陀仏をご安置するところ

お仏壇は死者のためではなく、生きている私のためにある。

家族そろって阿弥陀様に手を合わせることは、心豊かな家庭生活につながります。

家ごとにお仏壇を安置しましょう。

お 願 い

夏のつどいにて、かすみ草の会が物品を販売いたします。家庭の中に眠っている家庭用品、賞味期限内の食品、手作り品などありましたら、ご協力、お願いいたします。7月26日までいたします。

ご 案 内

永 代 経 法 要

	1日(土)	2日(日)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分

と き 平成25年6月1日より2日まで

講 師 当 山 住 職 自 勤

初 参 式

と き 平成25年6月2日(日) 午前11時開式

幼児が初めて仏様の前にてお参りをする儀式です

- ◎ 家族お揃いで、30分前にご集合ください。
手形の色紙作りをします。終了後、記念撮影を致します。
- ◎ 参加申し込みは、準備の都合により5月28日(火)までに、お寺へお知らせください。お待ちしております。

法 要 準 備 会 みなさん！お集まりください。

5月29日(水) 10:00 から 15:00 まで

本堂、納骨所もみんなで綺麗に致します。昼食準備しています。

小倉組仏教婦人会総会・研修会

6月21日(金) 13:00 より 16:00 頃まで

会 場 大手町 永 照 寺

講 師 NHK今日の料理 杉本 節子氏

小倉組仏教壮年会総会・懇親会

6月8日(土) お寺に申込

総会 17:30 法泉寺本堂

懇親会 19:00 観山荘別館

行事のご案内【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

盂蘭盆会(盆会)(うらぼんえ)

8月13・14・15日はお盆です。正しくは「盂蘭盆会」といいます。

お寺での特別の法要は致しませんどうぞ自由にお参り下さい。納骨所利用の方はぜひおいで下さい。なお、お盆の門徒宅お参りは**8月初めより実施**しています。都合のある方、時間に制限のある方は、早めにお寺に申し込み連絡下さい。早めの期間であれば時間通りにお伺いができます。

平成25年夏のつとい

と き 7月27日(土)16:00~18:00
と ころ 神岳保育園園庭
参加対象 自由
イベント 食品、手作りバザー各種
ゲーム大会 園児の盆踊り
園児の祇園太鼓披露
神岳保育園・父母の会主催

かすみ草の会出店参加

次回の法要のご案内

秋季彼岸法要

■ 平成25年9月19日(木)(昼席)・20日(金)(昼席)

【講師】熊本市 本願寺派布教使 吉村 隆真 師

編集後記

新緑がとても美しい季節です。改めて「美しい」声に発してみると、荒だった心の波が穏やかになります。私ができていることは、本当にささやかなことなのに、毎日、物事に追われています。「ちょっとゆっくり仏様の前に座りなさい。その荒だった心を静めなさい」もう一人の自分がささやきます。お寺の中にいながらはずかしい私です。はずかしいといえ、まだあります。今年の春、末っ子が京都の龍谷大学に入学しました。ありがたい春をむかえることができ、入学式には、住職と私も参加させてもらいました。入学式を終えて、「さあ、行きましょう」京都の西本願寺様へ。阿弥陀様、親鸞聖人様、「南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏、この度 聖子が大学に入学しました。京都の地にて、はじめての一人暮らしを始めます。心配でたまりません。どうか無事に過ごせますように、病気や事故にあいませぬように、仏様、みまもっていて下さい。南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏」次は、前住職や前坊守ののど仏様を納骨している大谷本廟様へ「南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏、お父さん、お母さん、聖子のことをよろしくお願ひいたします。」本願寺様でも、大谷本廟様でも、ごによごによ、ごによごによ、いつまでも頭をさげている私。頭をあげると、住職と娘が笑っていました。並んで歩く住職と娘の後ろを歩きながら「あー良かった。安心安心」、「うーん、あつ、私おかしなことをしてしまった?」「大丈夫、大丈夫、あなたが願ひをかけなくても、ずーと前から、願ひはかけられているよ。願う私ではなくて、久遠の昔より、願われている私ですよ。そのままでもいいよ、あるがままでいいよ、あなたのすべてを私がひきうけているからね。安心していいよ」とささやいて下さる仏様の声。「そうだった。そうだった」愚かな母でした。かかえきれないほどの心配を阿弥陀様のお心が春の風にのせて下さいました。

永代経法要、どうぞお参りください。仏様のお声に耳をかたむけられませんか。お待ちしています。

合 掌